

誓いの言葉

昨年度の終わりに武蔵中閉校式に参加し、「これで武蔵中学校がなくなるんだな」と少しさみしい気持ちになっていました。一方で、新しい校舎を作っている音が聞こえると「どんな学校ができるんだろう。」とわくわくもしてきました。そこで自分の力で志成学園のみんなを引っ張ってみたいという思いになり児童生徒会長になろうと思いました。

四月に志成学園として開校したものの、一学期間は一〜四年生、五〜九年生で別々の校舎で生活していたこと、新型コロナウイルスの影響で休校が続いたこともあって児童生徒会長になった実感が湧きませんでした。しかし、五月休校が明け生徒会活動の取り組みが始まりました。スローガンを決めたり、新聞を作ったりするときに低学年にも分かるようにするにはどうすればいいのか想像以上に大変だということが見えてきました。一学期最後の日に行った全校レクレーションでも計画や準備の甘さを実感し、リーダーとしての厳しさを学びました。これからはこの経験を活かしていきたいと思っています。

さて、待ちに待った新校舎が完成し、八月二十五日に全校生徒二六六名が一同に2学期の始業式を迎えることができ、うれしい気持ちでいっぱいです。志成学園の校訓は「愛郷・立志・飛躍」です。私たちはいつも地域の方々に見守られ、安心・安全に学校生活を送れることができています。私たちが地域の皆様に出ることは、登下校時のさわやかなあいさつやボランティア活動、さまざまな行事で活躍する姿をみせることで地域の皆様へ感謝の気持ちが伝えられたらいいなと思っています。そして、九年間の学びの中で、お互いの良さを知り、絆を深め合い、それぞれに高い志を持ち、三校の歴史を受け継ぎつつ、志成学園の新たな歴史を創り上げたいと思っています。

そこで児童生徒会としては、三つ大切にしていきたいことがあります。

一つ目はあいさつです。これからはいろんな方々がこの志成学園にいらっしやると思いますが、その中でもあいさつが特に重要だと私は考えています。地域の方々の第一印象はやはりあいさつと思うので、あいさつ坂でのワンストップあいさつ、出会った先生方、地域の方々へのあいさつなどいろんな場面であいさつする機会があると思うので、大切にします。

二つ目は校歌です。なぜなら、今年から校歌が新しくなり、歌詞から学校の様子が分かり、こんな児童生徒になってほしいという願いが込められているからです。そんな校歌を大きな声で歌うことで理想の児童生徒になっていくと私は思います。

三つ目は当たり前前の事を当たり前にする事です。

「忘れ物をしない」「宿題を完璧に出す」「先生の話をしっかり聞く」などこれは当たり前前のことです。このような当たり前前のことは当たり前にしてほしいと思っています。

児童生徒会としては「あいさつ」「校歌」「当たり前前の事は当たり前にする」この3つのことを大切にしてほしいと思います。

最後に、一年生〜九年生までの全校児童生徒が元気にあいさつ坂を登ってこられるように、学園生活をより充実したものにしていこうことをここに誓います。

令和二年八月二十八日

志成学園 児童生徒会長 田中 滉人